

地元中学生が熊野地区の土砂災害復旧現場で 防災教育現地学習を実施！



～紀伊山地砂防事務所～

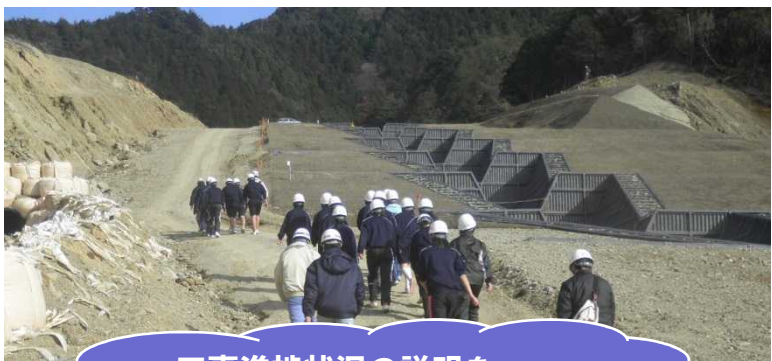
1月28日（火）和歌山県田辺市立大塔中学校の二年生のみなさんが田辺市熊野の土砂災害現場で防災教育現地学習を実施しました。



生徒20名と引率の先生3名が参加され、最初に土砂災害現場から近い面川地区の区長さんから当時の災害体験談を聞き、自然災害の恐ろしさや災害から身を守ることにについて学びました。



面川地区の区長さんから
災害体験談を聞きました



工事進捗状況の説明を
みなさん真剣に聞いていました

その後、崩壊斜面が見える場所まで上がった所で工事の進捗状況の説明を行いました。

生徒の方からは「道路の復旧はいつ頃ですか？」など、少しでも早く復旧してほしいとの要望がありました。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代）



地元中学生が熊野地区の土砂災害復旧現場で 防災教育現地学習を実施！



～紀伊山地砂防事務所～

後日、参加した生徒のみなさんから感想文を頂きました

防災現地学習の感想は 現地を見て
初めて大きく山がくずれたのはこわいなと
思った。

はたなかさんの話をきいて

2年前に自分の地域とちがってこんな大きな
学校がいなかったとほしくなった。

国土交通省の人の話をきいて

小舟までと道の完成まで来たまにかいるとは
びっくりしたし3日で東京で年をふるあめり
量がふったとはびっくりしました。

く石をつめていくのはたと
じみちなまじうたなと思った
とち良いかたになれた。



15 今の防災現地学習で「災害はなんなり
 か」といふことを知ることが出来ました。「災害前
 と災害後の地形の違い」とで激しく地形
 が災害前より30m近く高くなってましたと
 いうことが特におどろきました。元の主観的な
 場所に戻るのにたいは3.0かかるような大変
 な出来事だったんがなと思ったり、この出来
 事をこれから受ける災害に生かしてい
 たいと思いました。ためにやる話をまか
 けていたためにお身に よかったです。これから
 は近くに住む人が知っていてくら
 せる地域におびてほしいと
 思いました。



三川ハバスで行くとき、結こう時間が
かかったの で 三川は けこう遠いんだなあと
思いました。途中からはたなか さんと
しよにいました。行、ている間、くずれる
前の状況や、くずれたときの状況を話
して下さいました。ついてから、ヘルメ
ットをつけて、見学しました。とても坂がき
つかったです。それほど土砂が 流れ
てきたんだなあと 思いました。

熊野の状況は、写真では見たことが
あったけど、実際には見たことが
なかったの で、すぐくびくろし
ました。ありがうございませ。



とても、すごい現場だったと思います。すごくて強んでいると思います。すが、あの岩崩れははしりが、また崩れたら、あのとうとう、マシになるのかが心配です。排水路工は、すごい、と思いました。排水路工に岩石を入れるのは、雨がたかたん降った時に、流れを止めるためだ、と思ってますが、どうですか？ このしきりで、すごくて、場所が、悲しい思いをしたと思います。そんなののために、早めに現場を、きれいにもとった環境かも、という人も、もう一度、作る様にかんがえてほしいと思います。磐梯地域では、そんなことはありませんでしたが、いなくなった時には、おどろき準備を、して貰ったりと、あらためて、思います。そして、現場で働いて、いる人たちは、かんがえてほしいと思います。



私は熊野に行きました。

台風の後害がすごくて最初見たときびっくりしました。

同時にすごい怖い気持ちになりました。

私の家の後にも大きな山があるので土砂がずれ
などには注意しようと思いました。

自分の命は自分で守らないといけないので、そういう
危険なふうになったら、がんばって避難しよう
とします。

配られたプリントや話を聞いていると本当に
大変だったんだなと思いました。

このような話や経験をいかけて
これからも自然災害に注意して
生きていこうと思います。



防災現地学習で熊野地区に見学
に行きました。あちこちに大きな岩がた
くさんありました。あんなに大きな岩が落ち
てくると思ったら土砂崩れて、恐いな
と思いました。

国土交通省の皆さんから冊紙をもらったり
工事の進み具合を聞いたりしました。

冊紙ののっていた台風直後の写真を見て
驚きました。

この見学で学習したことを
忘れないようにしたいです。



★ 他にもこんなご意見が(一部を抜粋)

- ・現場に行くとものすごい量の土があって東京ドーム3.3個分もあることにおどろきました。
- ・もしものときはこの防災現場学習を元に自分の身を守りたいと思います。
- ・国土交通省の方の話はとてもむずかしかったけどがんばって理解しました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111 (代)



記念品として集合写真を
施工業者が下敷きにして
プレゼントしました！
※写真はイメージです

